

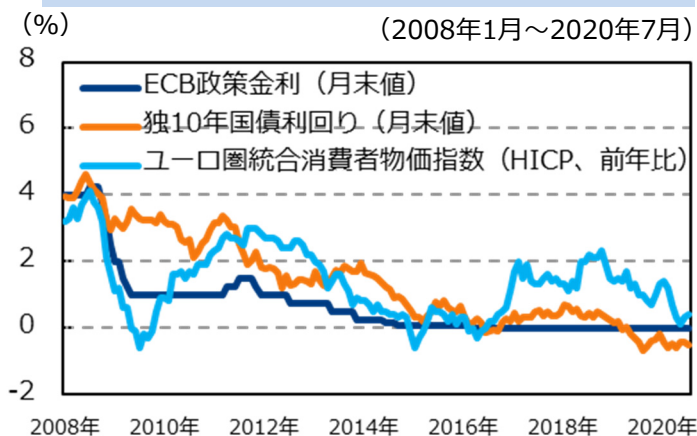
欧州マーケットビュー



- ユーロ圏の2020年4-6月期の実質GDP成長率は前期比▲12.1%となりました。市場予想と一致したものの、国別で見るとフランスとイタリアは市場予想をやや上回った一方、主要国で感染者数が最も多く移動制限が厳しかったスペインは市場予想を下回るなど地域格差が見られました。
- 7月は景況感指数が改善しドイツを中心に雇用が安定しつつあり、7-9月期の実質GDP成長率は前期比でプラス成長に戻るとみています。また、EU（欧州委員会）の復興基金などの新たな財政政策や金融政策も今後景気の下支えとなることが予想されます。

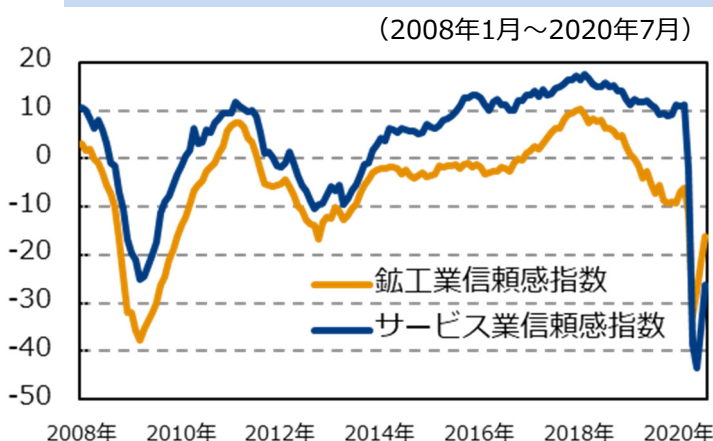
金利とインフレ率

2020年7月のユーロ圏の消費者物価指数（速報値）は前年比+0.4%となりました。長期金利はマイナス圏での推移が続いています。



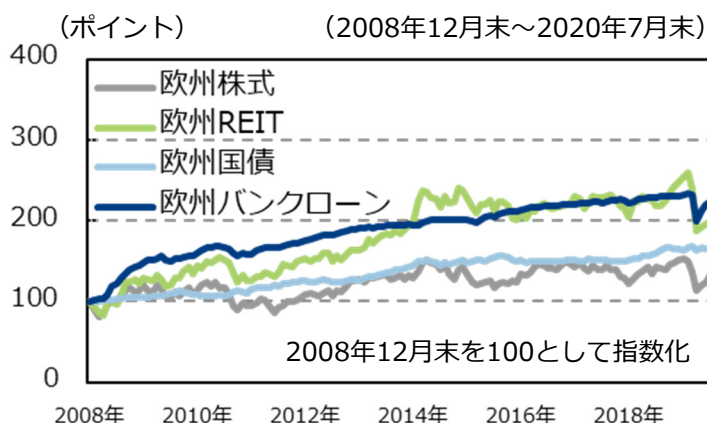
企業景況感

景況感は2020年3月以降、鉱工業、サービス業ともに大幅マイナスが続いていますが、6月以降はマイナス幅が縮小しました。



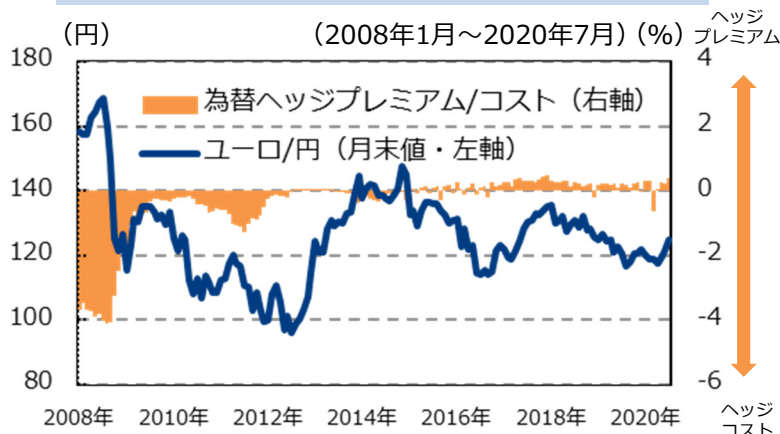
欧州各資産の推移

欧州各資産はコロナショックの影響から大幅な下落を余儀なくされましたが、足元では上昇しています。



ユーロ/円と為替ヘッジプレミアム/コスト

日本円の金利がユーロよりも高い状況から、ユーロ/円はヘッジプレミアムが生じています。（2020年7月：0.37%）



(注) 為替ヘッジプレミアム/コストは直物為替レートと期日1カ月後の為替予約レートとの価格差（月間平均値）から簡便法により算出。
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※使用したインデックス（いずれもユーロベース）

欧州株式：ユーロストックス50指数、欧州REIT：FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Index、欧州国債：FTSE欧州国債インデックス、欧州バンクローン：クレディ・スイス・ウェスタン・ヨーロッパ・レバレッジド・ローン・インデックス

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。